

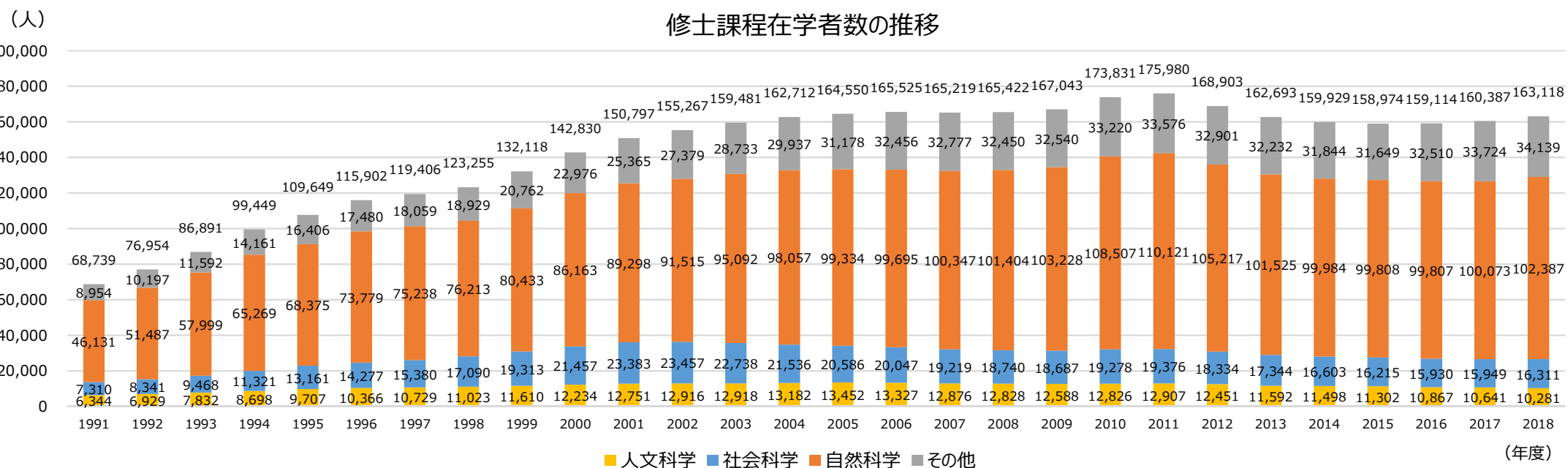
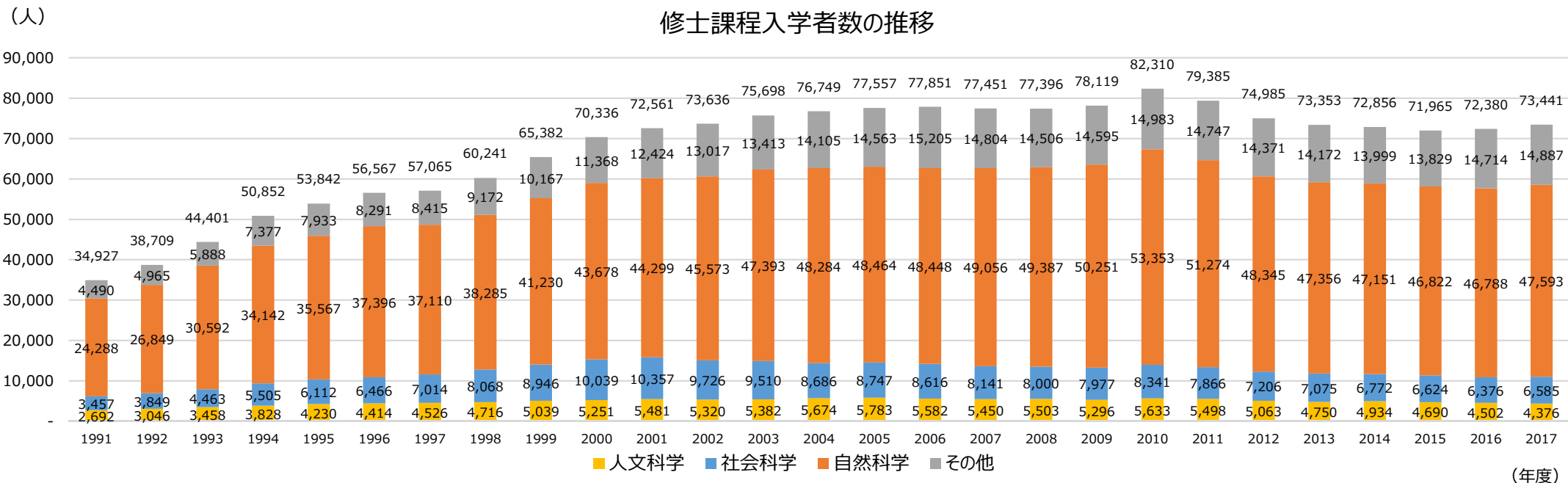
人文学・社会科学分野を取り巻く状況 参考データ集

注：当データ集においては、引用している調査における定義に従い、「人文科学」という用語が用いられているが、学術分科会では「人文科学」は「人文学」と同義として議論を進める。

目次

修士課程入学者数・在学生数の推移	2
修士課程修了後の進学状況	3
博士課程入学者数・在学生数の推移	4
博士号取得者数の推移	5
学位（博士号）取得までの期間の推移	6
ポストドクター等の延べ人数の推移	7
大学の本務教員数と年齢区分ごとの割合の推移	8
研究時間割合の推移	9
大学等における研究開発費の学問分野別の推移	11
企業における人文・社会科学分野の研究者数の推移	12

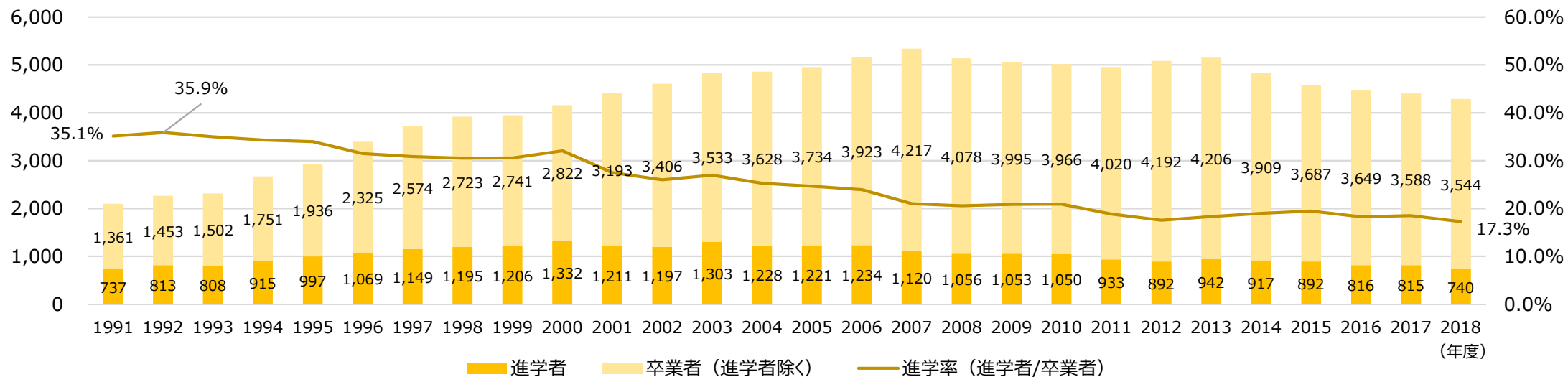
修士課程入学者数・在学生数の推移



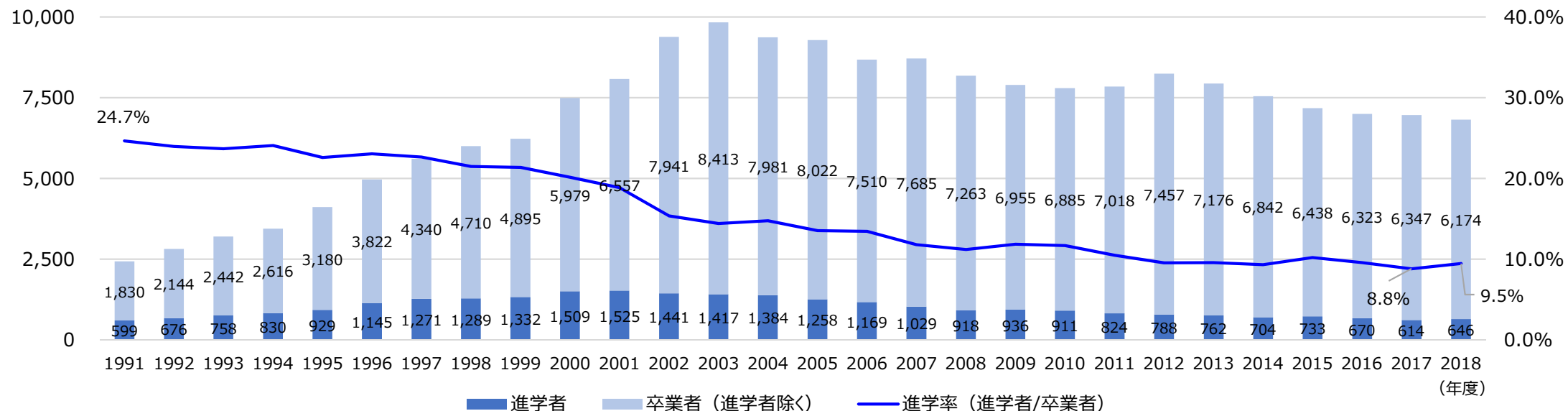
出典：文部科学省「学校基本調査」の結果を基に、文部科学省作成

修士課程修了後の進学状況

修士課程（人文科学）修了後の進学状況



修士課程（社会科学）修了後の進学状況

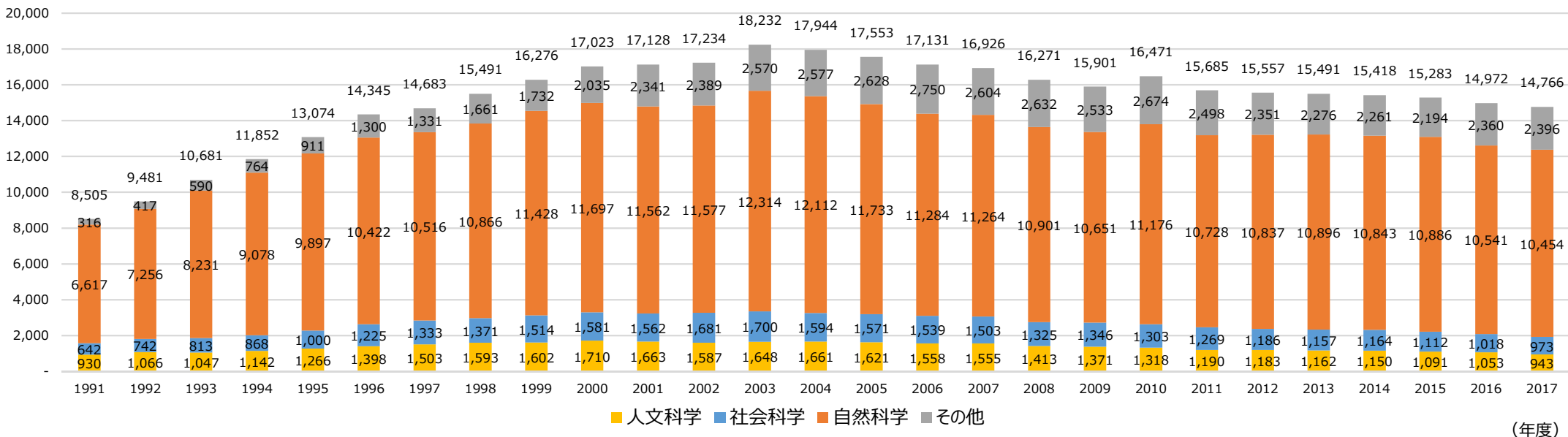


出典：文部科学省「学校基本調査」の結果を基に文部科学省作成

博士課程入学者数・在学生数の推移

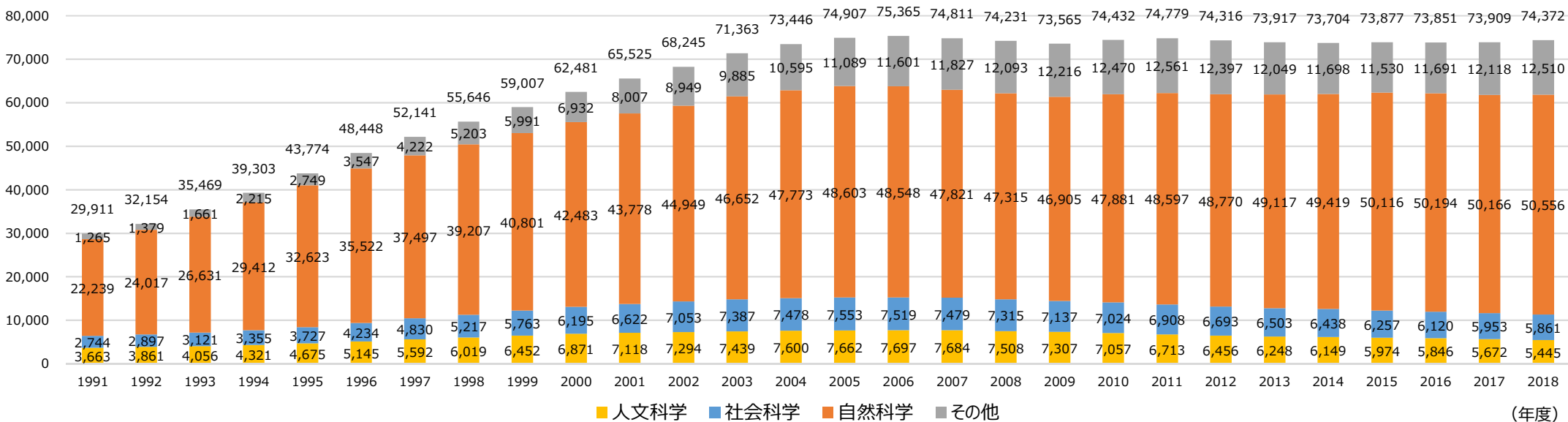
(人)

博士課程入学者の推移



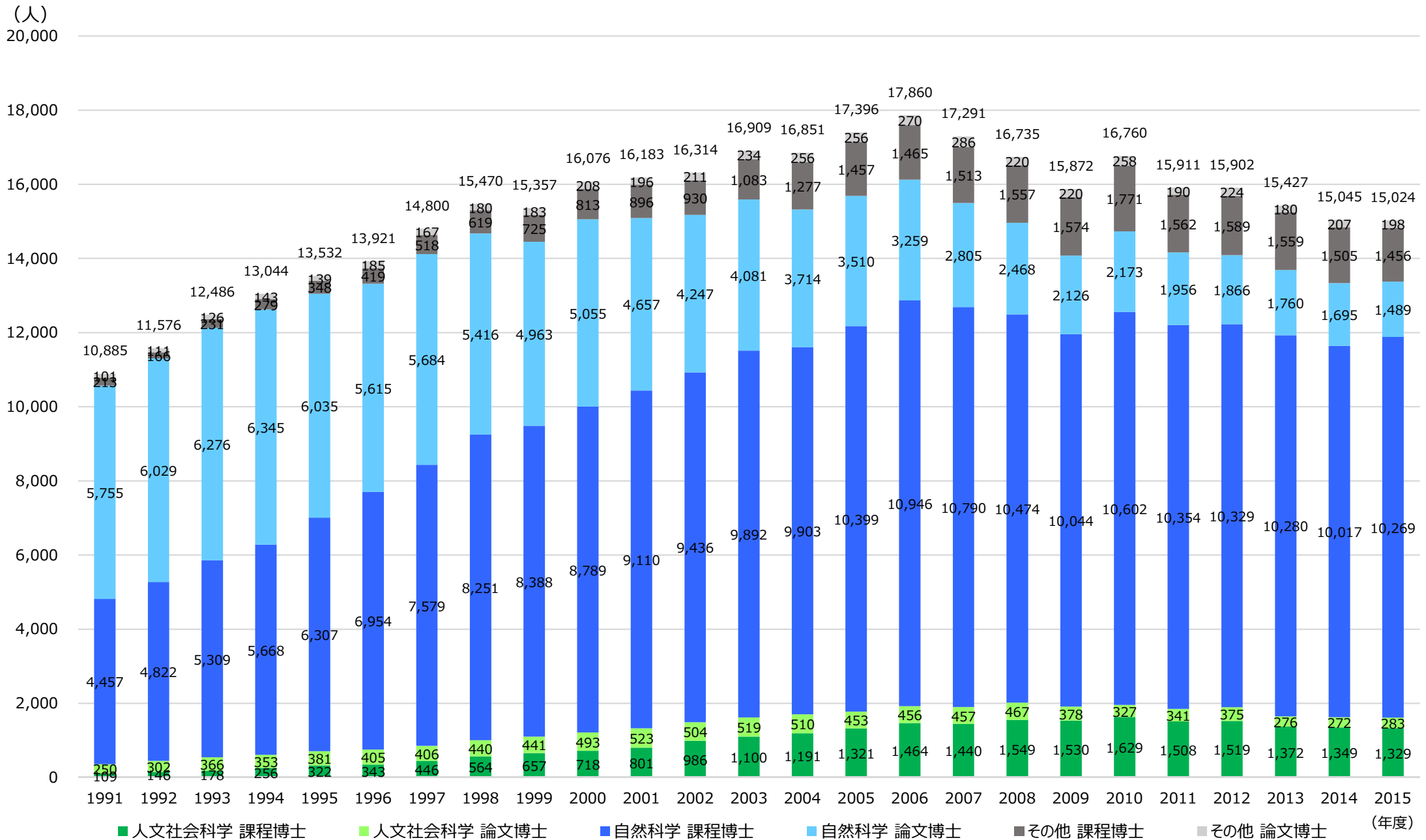
(人)

博士課程在学者数の推移



出典：文部科学省「学校基本調査」の結果を基に文部科学省作成

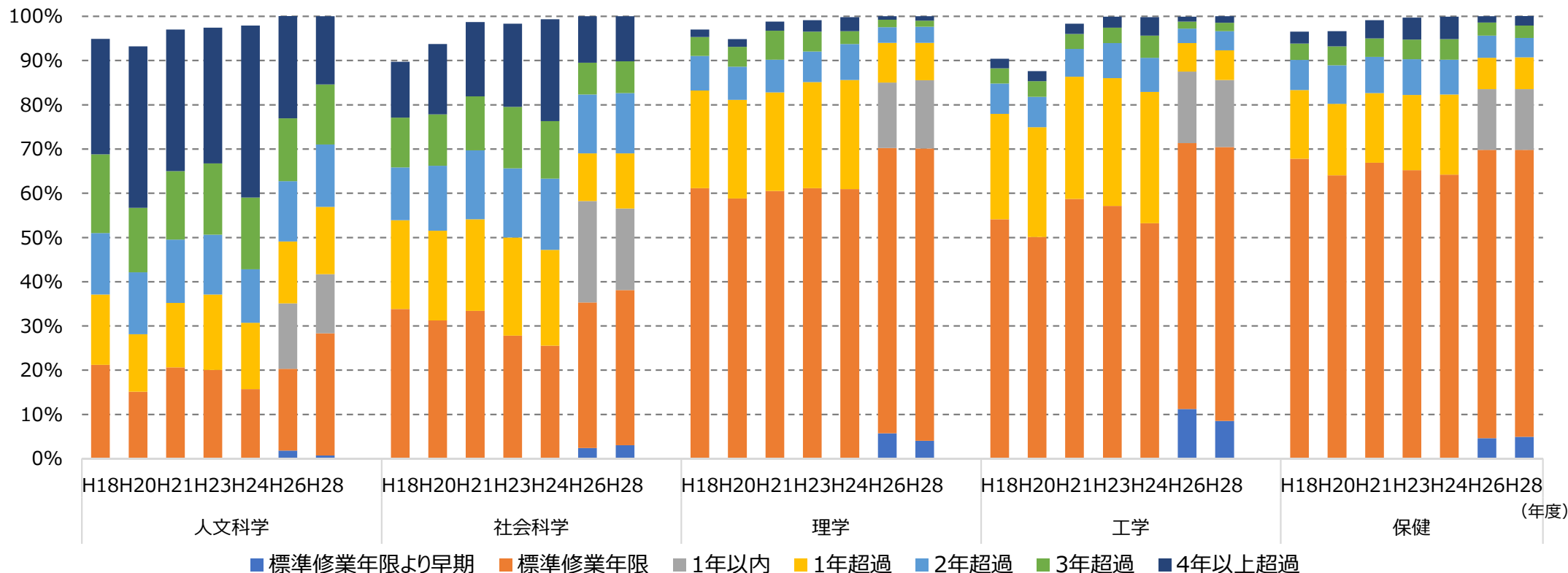
博士号取得者数の推移



出典：文部科学省 科学技術・学術政策研究所、「科学技術指標2017（2017年8月）」（2013年度まで）及び文部科学省「博士・修士・専門職学位の学位授与状況」（2014年度以降）を基に文部科学省で加工・作成。

学位（博士号）取得までの期間の推移

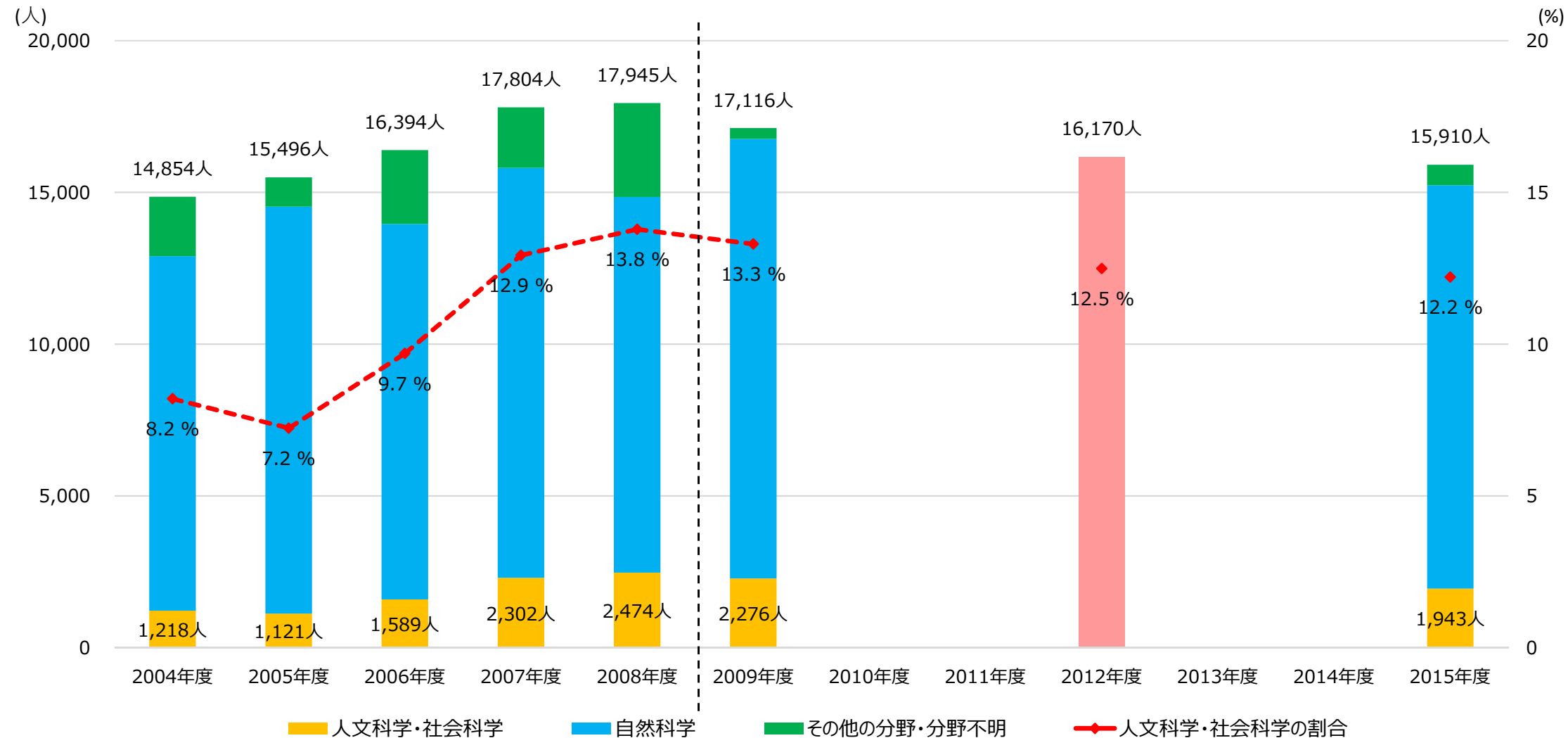
（学位取得者に占める割合）



※平成26年度以降、標準修業年限で学位取得した者と標準修業年限より早期で学位取得した者を区別した。
 また、標準修業年限後1年超過して学位取得した者と標準修業年限後1年以内で学位取得した者を区別した。
 ※編入学者や入学年度が不明の者などがあるため、合計が100%にならない場合がある。

出典：
 ・平成18年度～平成24年度
 各大学院における「大学院教育振興施策要綱」に関する取組の調査結果について（平成18年度～平成24年度）
 ・平成26年度
 文部科学省委託調査「大学院における「第2次大学院教育振興施策要綱」等を踏まえた教育改革の実態把握・分析等に関する調査研究」（平成28年2月 株式会社リベルタス・コンサルティング）
 ・平成28年度
 文部科学省委託調査「大学院における「第3次大学院教育振興施策要綱」等を踏まえた教育改革の実態把握・分析等に関する調査研究」（平成30年3月 株式会社リベルタス・コンサルティング）
 を基に文部科学省で作成

ポストドクター等の延べ人数の推移



※「ポストドクター等」とは、「博士の学位を取得した者又は所定の単位を修得の上博士課程を退学した者（いわゆる「満期退学者」）のうち、任期付で採用されている者で、①大学や大学共同利用機関で研究業務に従事している者であって、教授・准教授・助教・助手等の学校教育法第92条に基づく教育・研究に従事する職にない者、又は、②独立行政法人等の公的研究機関（国立試験研究機関、公設試験研究機関を含む。）において研究業務に従事している者のうち、所属する研究グループのリーダー・主任研究員等の管理的な職にない者」を指す。

※調査方法の変更により、2008年度以前と2009年度以降を厳密に比較することはできない。

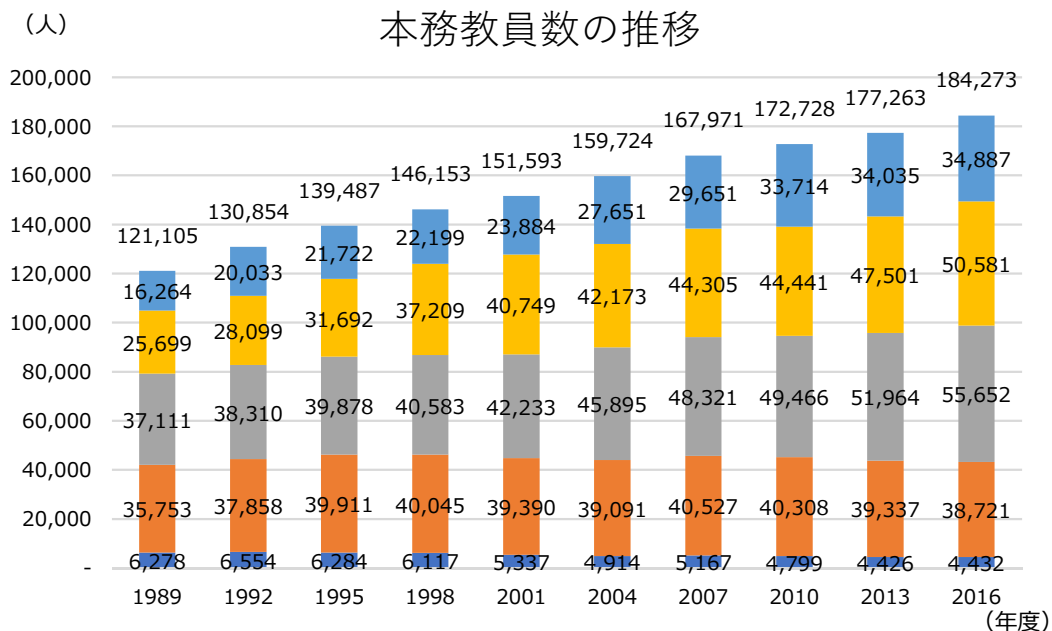
※2012年度の人文・社会科学分野のポストドクター等の割合は延べ人数ではなく、2012年11月における人数に対する割合。

※2005年度、2007年度の分野分類は、2004年度、2006年度、2008年度の分野分類と異なるため、比較はできない。そのためイメージとして時系列順に配置している。

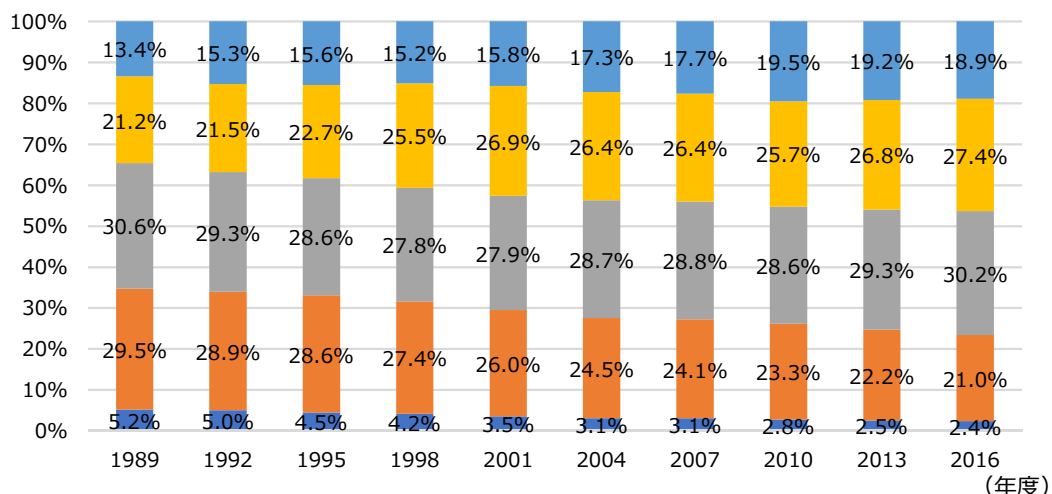
大学の本務教員数と年齢区分ごとの割合の推移

全分野

本務教員数の推移



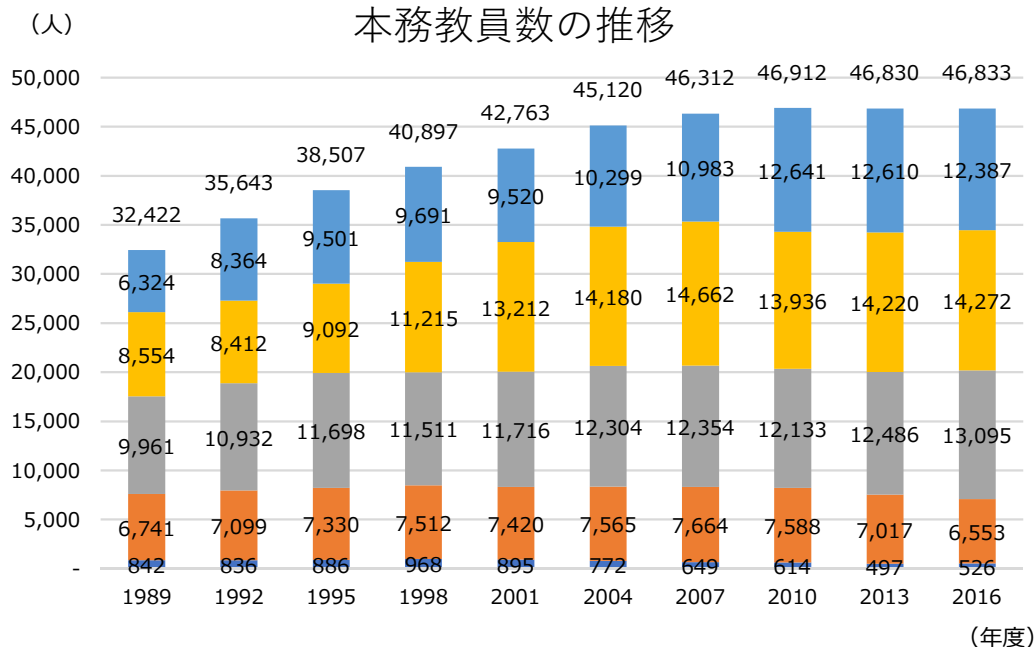
年齢区分ごとの割合



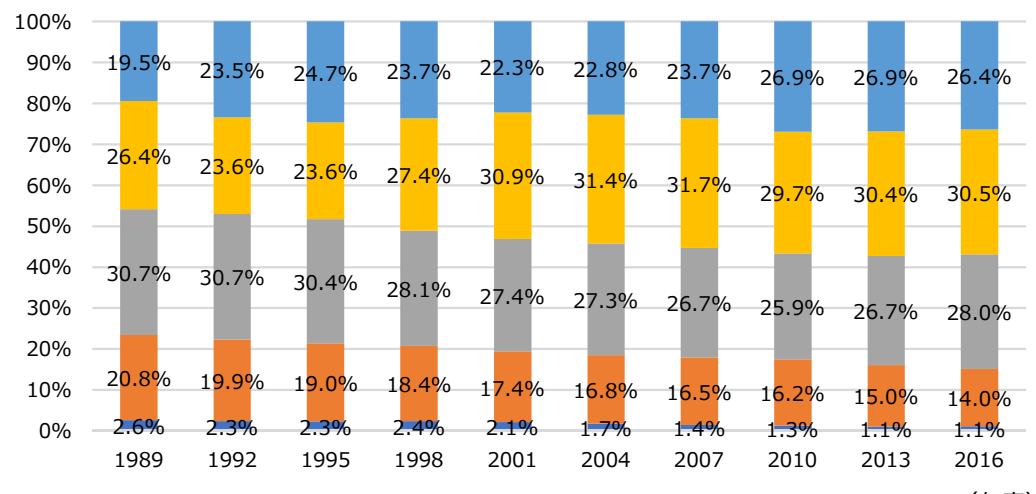
■ 30歳未満 ■ 30歳以上40歳未満 ■ 40歳以上50歳未満 ■ 50歳以上60歳未満 ■ 60歳以上

人文科学・社会科学分野

本務教員数の推移

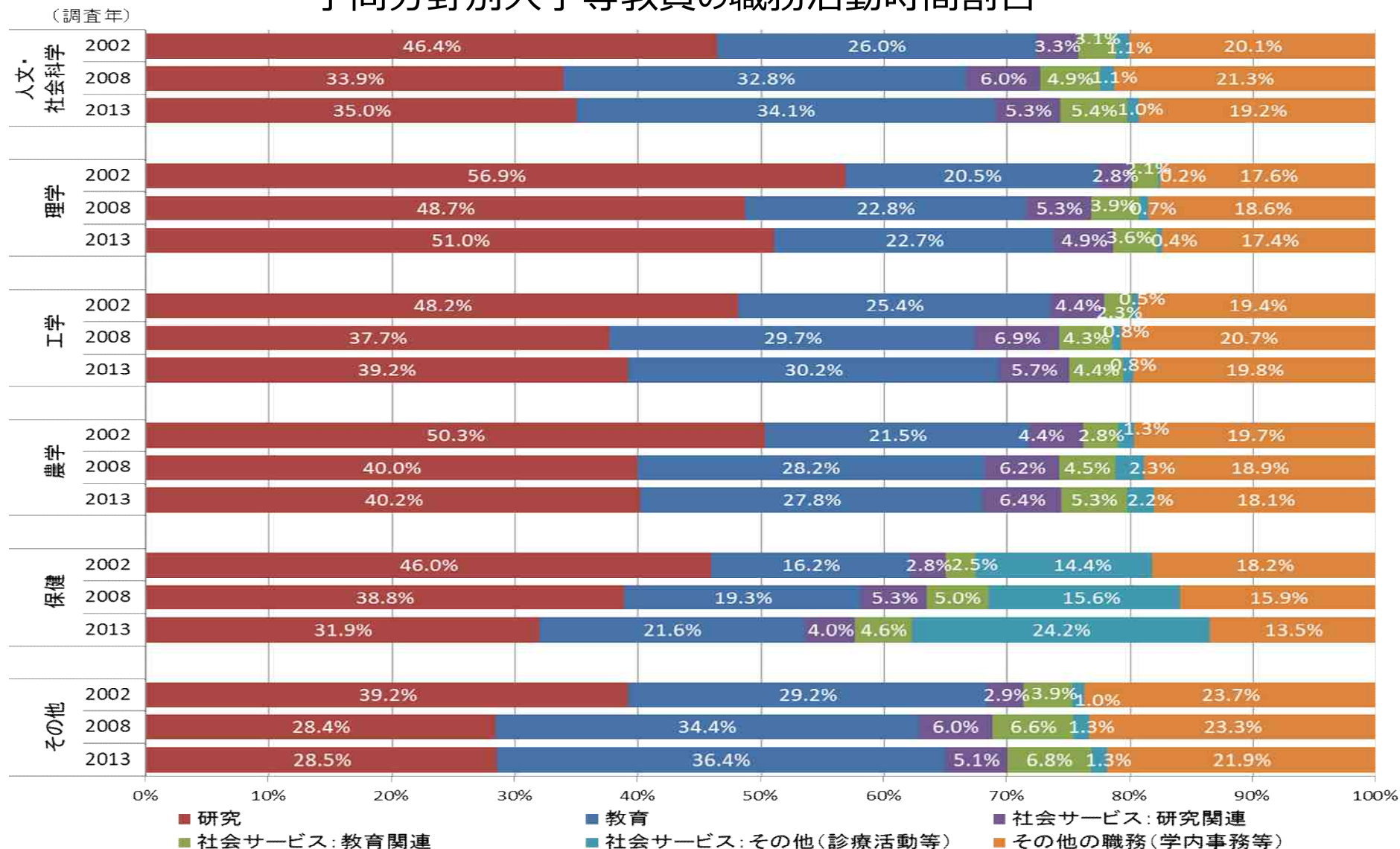


年齢区分ごとの割合



研究時間割合の推移①

学問分野別大学等教員の職務活動時間割合

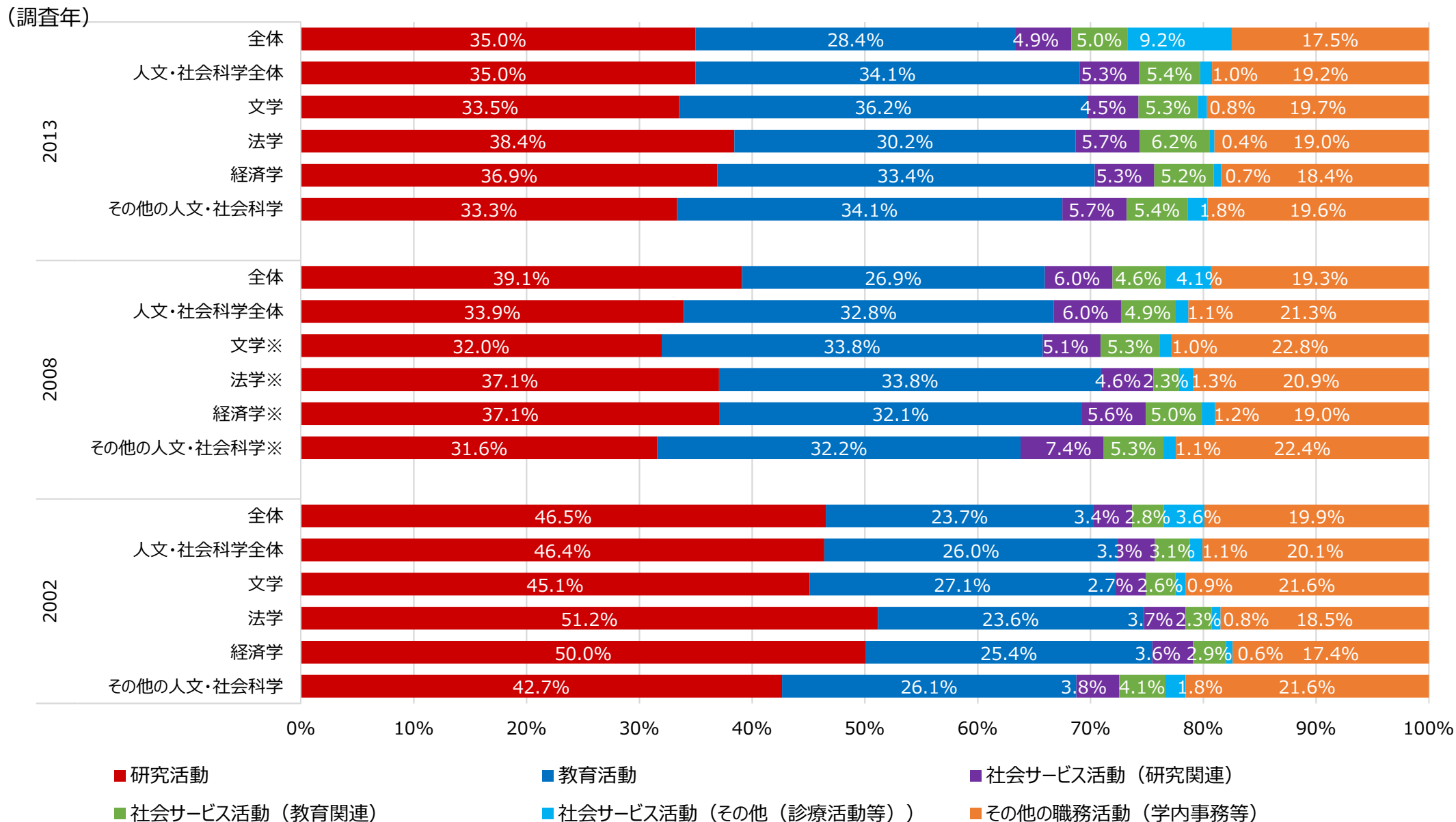


(出典)「大学等教員の職務活動の変化－『大学等におけるフルタイム換算データに関する調査』による2002年、2008年、2013年調査の3時点比較－」

(平成27年4月、科学技術・学術政策研究所)

※2002年の『大学等におけるフルタイム換算データに関する調査』においては、総務省統計局が実施している「科学技術研究調査」における大学等の研究本務者のうちの教員を対象とし、無作為抽出を行っている。2008年、2013年調査では、「科学技術研究調査」による教員数を母集団数とし、学問分野別にウェイトバックした母集団推定値を使用した。

研究時間割合の推移②

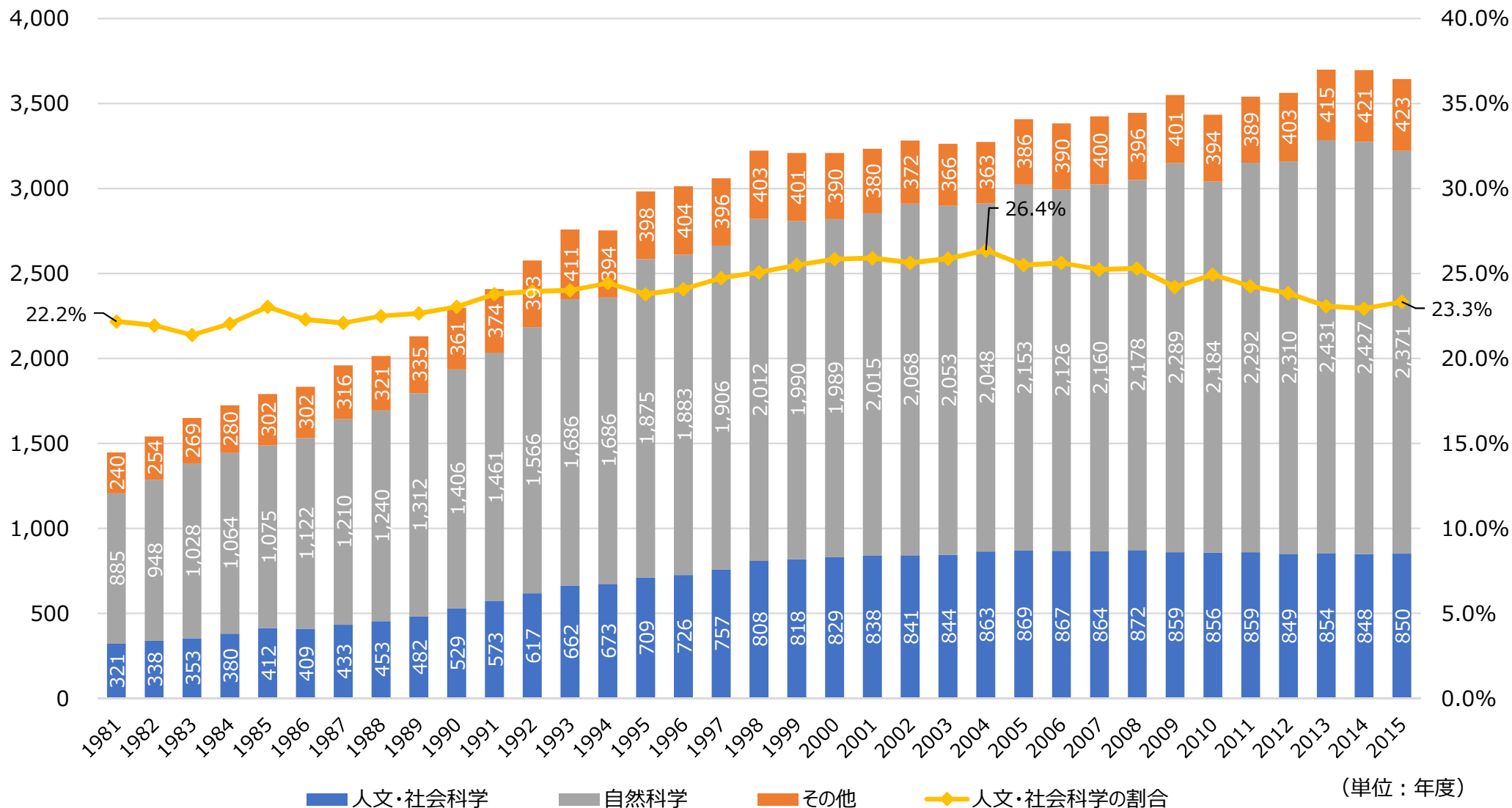


注：2008年の文学、法学、経済学、その他の人文・社会科学の割合は時間から算出した推定値

出典：大学等におけるフルタイム換算データに関する調査の結果を基に文部科学省作成

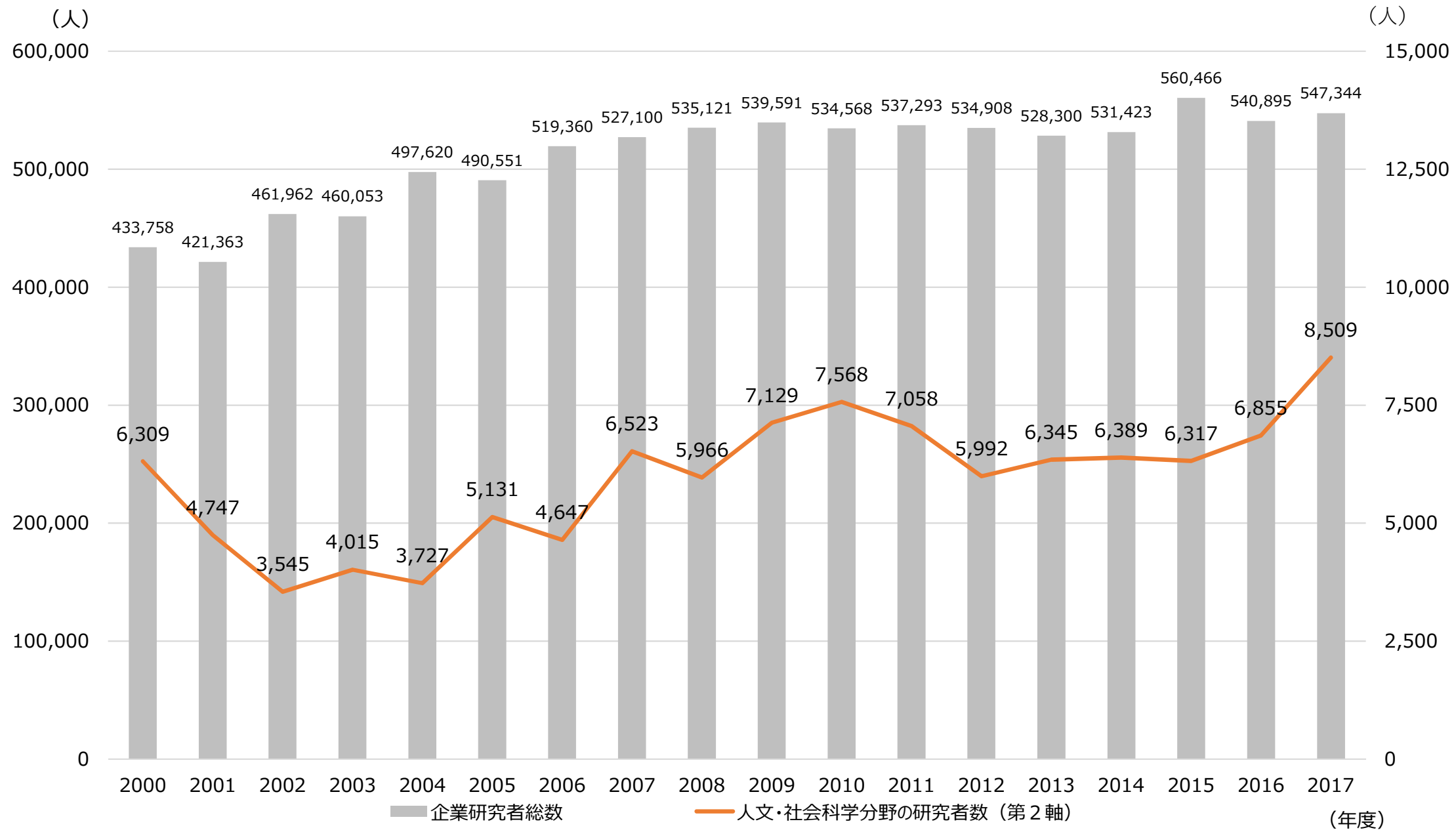
大学等における研究開発費の学問分野別の推移

(単位：10億円)



(出典)文部科学省 科学技術・学術政策研究所、「科学技術指標2017 (2017年8月)」を基に、文部科学省が加工・作成。

企業における人文・社会科学分野の研究者数の推移



出典：総務省「科学技術研究調査」を基に、文部科学省作成